

(別添 4)

第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント

(令和 7 年 10 月 31 日記載)

今年で開園 3 年目を迎えました。ルームとしての土台ができつつある中、これから保育・運営ともにより質の向上を目指し、今回初めて第三者評価を受審致しました。第三者評価機関に当ルームを見て頂き、ありのままの状態を評価していただくことで、ルームとしての課題を明らかにし、改善につなげることと致しました。また、課題が明確になったと同時に良いところも確認することができたこと、アンケートにご協力くださった保護者の皆さまからの温かいメッセージを頂いたことは私たちの励みとなりました。

保護者への聞き取りの中で「登降園のインターホンの待ち時間、不審者対策への不安」「地域との交流のわかりにくさ」が出た部分に関しては、開錠前のクラスとお名前の確認・不審者訓練の実施、ブログ・お便りなど保護者への周知で改善を図って参ります。

評価機関の総評では私たちが一番大切にしている【お子様が大切にされる場所】を良い点の一番に挙げて下さり、今後もスタッフ一同気を引き締め、保育の質の向上に努めてまいります。

【地域との連携】は開園当時から力を入れたいと考えていたところでありますので、今年度より地域の保育園、施設、イベントの参加など実施や子育て支援など地域の方の為の開かれたナーサリーを目指します。

これからも理念にもあります通り、安心して保護者の方が働けるように、最高水準のエデュケアでお子様をサポートし、保護者・お子様・スタッフ・地域の方々ここに关わる全てのひとが安心していただける場所を目指していきたいと思っております。

今回はしなの福祉教育総研様にご協力頂き、貴重なご意見・振り返りの時間を頂き、この場をお借りし、感謝申し上げます。

ポピンズナーサリースクール 軽井沢風越 施設長 荒谷 友佳

- * 公表の同意をした場合は、評価機関に、電磁的に作成し電磁的に保存した媒体及び当該媒体を出力した書面（署名及び押印をすること。）を提出すること。
- * 評価機関は、福祉サービス事業者から提出のあった当該書面を県へ提出すること。